

2011年5月22日 主日礼拝

司 会 ①丸藤兄 ②多田哲兄 ③広山兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②久保田兄

3つの愛

賛 美 聖歌229番 (645番・南宮姉召天!)
(主は今生きておられる)

聖 書 ① ルカによる福音書19章28～34節

②③ ヨハネによる福音書8章1～12節

音 楽 ① 北島美佐子姉

②③ カルバリー聖歌隊 & アンサンブル

メッセージ ① 「主がお入り用なのです」 大塚信頼伝道師

②③ 「愛は沈黙を知っている」 大川従道牧師

賛 美 聖歌399番 (献金・東日本のため)

主の祈り

祝 禱

「本人が罪を犯したのでもなく、ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである。」

(ヨハネ九の三)

石の枕

「さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平安があるように』と言われた」(ヨハネ20の26)。

ドイツの北部ギュストロウの町に彫刻家エルソスト・バルラハの工房があった。ナチの手で非芸術的と烙印を押され、多くの作品が失われたが、元墓地礼拝堂であった展示場になお傑作が並ぶ。「再会」と題する作品がある。

がっしりと立つ甦ったイエスにトマスがとりすがっている。トマスは、一説にバルラハ自身がモデルであるとも言う。疲れ果てたトマスが、若々しいイエスによく支えられているように見える。こんなふうにして「平安があるように」という声を改めて聴いたのではないかとさえ思う。見つめあうふたりの顔のすばらしさに魅了されながら、ふと足元を見て驚いた。

トマスは、あの方の手に残る釘跡を見なければと言ったのであるが、なるほど主イエスの手から釘は抜かれている。だが、なんと、その足には太い釘がまだ刺さったままである。主の苦難は続いているということなのか。それにしても、バルラハは、なぜ「再会」と題したのであろうか。(加藤常昭「一日一章」)

私たちは、罪赦され、洗礼を受けたのちも、今だに、罪を犯し、主のお体から、釘をぬく時がない、ということか。深く考えさせられている。

日々悔い改めし、日々赦され、感謝を捧げるのがキリスト者の姿か。

次は牧師のいない小さな支教会の様子です。「私は、豊中家の教会で3人で礼拝を守っています。インターネットを通して、毎週聖霊が流れて来て、心の底からアーメン、アーメンと言っています。メッセージを通して、霊が燃やされ、リバイバルの為に熱く祈っています。私は、本当にすばらしい教会に導かれたといつも思わされています。心から感謝しています。先生、ご自愛下さい。」

ただ今、大ヒット中の『老いの才覚』より。「老人にも大きく分けて二つの生き方がある、と私はよく思う。得られなかったものや失ったものだけを数えて落ち込んでいる人と、幸いにももらったものを大切に数え上げている人がいます。さまざまなものを失っていく晩年こそ、自分の得ているもので幸福を創り出す才覚が必要だと思います。」(曾野綾子著)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ヨハネ8章～11章 Bコース:歴代志上6章～25章

【大和ニュース】

- ・ 本日、洗礼準備会(9時)、アブラハム会・モーセ会。J. PLUS等あり。
* 告別式:南宮仙子姉(ナオミ会)・24日(火)13:00、当チャペルにて。
- ・ 今週も祈禱会を大切に!説教は奥山実先生(那須・MTC)
- * 転入会は、①土屋直子姉(エステル会)②野田博行兄(モーセ会)③野田英美姉(ルツ会)
- ・ 福音礼拝は、ビデオ。火曜夜2時半～3時半。レインボールームにて。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は丸藤補教師。熱く、祈りましょう。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は倉知副牧師。
- * ご婚約おめでとうございます。磯野恭平様と右澤詩恵様。第3礼拝後。
- * ご結婚おめでとうございます。森屋幹伝道師と渡部千恵美様。土曜2時半。